

MM2の新しい分類

研究分担者： 東北大学大学院医学系研究科 北本 哲之

Present classification	Pathologic change	PrP immunostain	PMCA	Transmission	Proposed classification	Prion
MM2T	Thalamus/olivary degeneration	negative	Positive	Ki-ChM (+) Ki-Bank (-)	MM2T	M2T
MM2C	Large vacuolation	Perivacuolar PrP deposits	Negative	Ki-ChM (-) Ki-Bank (+)	MM2C (lv)	M2C (lv)
(newly identified)	Spongiform changes (small vacuolation)	Synaptic PrP deposits	Negative	Ki-ChM (-) Ki-Bank (+)	MM2C ^b (sv)	M2C (sv)

解説

- 我々は、FFIの症例で、非典型的な症例を経験し、感染実験の結果Ki-bankのみに感染し、M2Tで特有のKi-ChMには感染しないプリオンを見つけた。
また、この非典型例では、PMCAで増幅できないこともM2Tプリオンとは異なっていた。従来MM2Tと呼ばれていた症例の中には、この非典型的な症例と同様の感染性を併せ持つ症例も存在することが明らかとなり、さらに視床・オリブの変性のない症例においてもこの新しいプリオンが存在することを確認中である。
- 従来からの通念では、MM2C病変は病理学的に十分診断可能と思われていたが、典型的なspongiform changesをもち、シナプス型の異常プリオン蛋白沈着を示すMM2が存在することが明らかとなった。
従来からのMM2Cと区別するために、MM2C (large vacuolation; lv)が従来認識されていたMM2Cであり、今回明らかにしたのはMM2C (small vacuolation; sv)と呼ぶことにした。(Brain Communications in press)
- 「診断基準の策定・改訂」に該当する研究である。